

【AWR 期間比較レポートのコマンド作成方法】

コマンドによる期間比較レポートは、同一のデータベースの異なる期日のスナップショットの比較と、同一サーバー内の異なるデータベース・インスタンス (D/B Id) 間でのスナップショットの比較の 2 種類の AWR スナップショットの統計データ比較が可能である

後者については、「D:¥技術調査資料 (新) ¥Oracle¥技術情報 (Web ページから) ¥AWR 期間比較レポート¥AWR 期間比較レポートコマンド指示.htm」の「8.2.2.2 特定データベースの AWR の期間比較レポートの生成」を参照すること

8.2.2.1 ローカル・データベース(同一のデータベース)の AWR の期間比較レポートの生成

コマンドライン・インタフェースを使用して、ローカル・データベース・インスタンスに AWR の期間比較レポートを生成するには、次のようにする

1. SQL プロンプトで次のように入力する

```
@?/rdbms/admin/awrddrpt.sql
```

2. レポートの形式として HTML またはテキストのいずれかを指定する

```
Enter value for report_type: html ↵
```

この例では、HTML 形式のレポートが選択する

3. 第 1 期間のスナップショット ID をリストする日数を指定する

```
Enter value for num_days: 2 ↵
```

これで、指定した時間範囲に対応する既存のスナップショットのリストが表示される

この例では、最近 2 日間に取得されたスナップショットが表示される

4. 第 1 期間の最初と最後のスナップショット ID を指定する。

Enter value for begin_snap: 102 ↵

Enter value for end_snap: 103 ↵

この例では、第 1 期間において、スナップショット ID が 102 のスナップショットが最初のスナップショットとして選択し、スナップショット ID が 103 のスナップショットが最後のスナップショットとして選択する

5. 第 2 期間のスナップショット ID をリストする日数を指定する

Enter value for num_days2: 1 ↵

指定した時間範囲に対応する既存のスナップショットのリストが表示される
この例では、前日に取得されたスナップショットが表示する

6. 第 2 期間の最初と最後のスナップショット ID を指定する

Enter value for begin_snap2: 126 ↵

Enter value for end_snap2: 127 ↵

この例では、第 2 期間において、スナップショット ID が 126 のスナップショットを最初のスナップショットとして選択し、スナップショット ID が 127 のスナップショットを最後のスナップショットとして選択する

7. レポート名を入力するか、デフォルトのレポート名を受け入れる

Enter value for report_name: ↵

Using the report name awrdiff_1_102_1_126.txt

この例では、デフォルト名が使用され、awrdiff_1_102_126 という AWR レポートが生成される